

## 第1回「風さやか」食味コンテストが開催されました。

第1回「風さやか」食味コンテストが、12月4日土曜日に小諸市文化センターにおいて「風さやか」推進協議会の主催により開催されました。佐久農業農村支援センターは、「風さやか」ブースでのPRや、受付、審査米の炊飯・配膳や食味審査会場の設営など食味コンクールの運営に携わりました。

このコンテストは、県内各地で栽培されている「風さやか」の玄米、精米及び食味審査による客観的な評価を通して、県内の米生産者の意欲高揚・栽培技術の向上を図り、ブランド力向上を目指すために開催されています。なお、第2回お米コンクール&第3回JA佐久浅間一番うまい米コンテストも同時開催されました。

1次、2次審査が行われて最終的に20検体が選抜され、一定のルールで炊飯されたサンプルが外観や食味など官能検査により厳正な審査が行われ、長野県知事賞に野沢温泉村の(有)野沢農産生産組合（組合長高橋義三氏）が選出されました。

また、「風さやか」の誕生の秘話や特徴について、長野県農業試験場の細井淳主任研究員の基調講演が行われました。「風さやか」は、長野県農業試験場が13年の歳月をかけて育成し、「すがすがしい清らかな空気の元で育てられたこと」をイメージしています。旨味がありながらあっさりとしていて和食によく合い、冷めても食感にあまり変化がなく、ご飯のおいしさが保たれるため、お弁当やおにぎりにもよく合うお米です。



運営支援



細井淳主任研究員による基調講演



厳正な審査が行われました



入賞された皆さま